

科目名		倫理(Ethics)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第2学年	機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科 経営情報学科	履修	2単位	—	講義	通年 90分/週	60時間		
担当教員		【常勤】山下 祐志							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1) 授業で取り扱う古今東西の思想家について、その思考回路の概略が説明でき、他の思想家との区別ができる。 (2) 学習内容が、学校生活や社会生活において応用できることを、おおよそ理解できる。								
学習・教育目標	(F)	JABEE基準1(2)		—					
関連科目・教科書および補助教材									
関連科目	現代社会, 世界史								
教科書	「倫理」竹内整一ほか編(東京書籍)								
補助教材等	別途に授業の中で紹介する。								
達成度評価(%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	10	30					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	○						
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
倫理の命題は、「見えるものの奥にある見えないもの」について考察を深めることであり、それを社会生活の中に活かしていくことである。この観点から、古今東西の思想家の思考回路を学習し、私たちの生き方について考える訓練を行う。したがって、試験に記述問題を出題するので、レポートの作成などで記述能力を鍛えて欲しい。									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入	シラバスの意図するところが概ね理解できる。	
2	合理的精神の確立	ベーコンの思考回路が理解できる。	小テストに備える。
3	合理的精神の確立	ベーコンの思想の概要が理解できる。	小テストに備える。
4	合理的精神の確立	デカルトの思考回路が理解できる。	小テストに備える。
5	合理的精神の確立	デカルトの思想の概要が理解できる。	小テストに備える。
6	人格の尊厳	カントの思考回路が理解できる。	レポートを作成する。
7	人格の尊厳	カントの思想の概要が理解できる。	中間試験に備える。
8	中間試験		
9	ヘーゲルの人倫の思想	ヘーゲルの歴史観と弁証法概念が理解できる。	小テストに備える。
10	ヘーゲルの人倫の思想	ヘーゲルの思考回路が理解できる。	小テストに備える。
11	ヘーゲルの人倫の思想	ヘーゲルの思想の概要が理解できる。	小テストに備える。
12	功利主義	ベンサム思考回路が理解できる。	小テストに備える。
13	功利主義	ベンサムとミルの見解の相違点が理解できる。	レポートを作成する。
14	社会主義	マルクスの思想の概要が理解できる。	前期末試験に備える。
	前期末試験		
15	答案返却・解答解説, 後期からの 授業概要の説明	試験解説により, 間違った箇所を理解できる。	

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	実存主義	キルケゴールの思考回路が理解できる。	
17	実存主義	キルケゴールの思想の概要が理解できる。	小テストに備える。
18	実存主義	ニーチェの思考回路が理解できる。	小テストに備える。
19	実存主義	ニーチェの思想の概要が理解できる。	小テストに備える。
20	実存主義	ヤスパースの思想の概要が理解できる。	小テストに備える。
21	実存主義	サルトルの思想の概要が理解できる。	レポートを作成する。
22	実存主義	実存主義の基本的な見解と、各思想家の個性を対比して説明できる。	中間試験に備える。
23	中間試験		
24	仏教と日本人の思想形成	親鸞の思考回路が理解できる。	
25	仏教と日本人の思想形成	親鸞の思想の概要が理解できる。	小テストに備える。
26	仏教と日本人の思想形成	道元の思考回路が理解できる。	小テストに備える。
27	仏教と日本人の思想形成	道元の思想の概要が理解できる。	小テストに備える。
28	仏教と日本人の思想形成	日蓮の思想の概要が理解できる。	小テストに備える。
29	仏教と日本人の思想形成	代表的な仏教用語の意味が理解できる。	学年末試験に備える。
	学年末試験		
30	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できる。	
総授業時間数			60時間